



ふじさわ体協

発行・編集 藤沢市体育協会 〒251-0026 藤沢市鵠沼東3-2 秩父宮記念体育館内

URL <http://www.fujisawa-taiyo.org/>

第28回

スポーツ人の集い

主催 藤沢市体育協会・藤沢市教育委員会
共催 (公財) 藤沢市みらい創造財団

平成25年2月16日(土) 藤沢市民会館小ホールに於いて第28回「スポーツ人の集い」が開催されました。

第一部の式典では、スポーツの分野で輝かしい成績を上げ、広く市民に夢と感動を与えた選手に「藤沢市スポーツ栄誉賞」、永年にわたりスポーツの普及、推進に功績があった方に「体育功労者表彰」、全国大会、関東大会で優秀な成績を収めた選手に「優秀選手賞」「優秀団体賞」、神奈川県大会で優勝された選手に「敢闘選手賞」「敢闘団体賞」、体育協会加盟団体以外の競技において優秀な成績を収めた選手に「スポーツ奨励賞」が、山田体育協会会長から授与されました。

第二部は、ロンドンオリンピック陸上競技総監督の高野進氏による講演会があり、第三部のレセプションでは、来賓の方々はじめ受賞者を交え懇親が図られました。
(荒井)

第一部 式典

スポーツ栄誉賞

立石 諒 (水泳)



第30回オリンピック競技大会 (2012/ロンドン) 男子2000m平泳ぎ銅メダル
藤沢市出身の立石選手は、ロンドンオリンピック競泳男子2000m平泳ぎにおいて見事銅メダルを獲得されました。多くの市民に夢と感動を与えた功績に対し、藤沢市からも市民栄誉賞が授与されています。

山田恵里 (ソフトボール)



第13回世界女子ソフトボール選手権大会 優勝
7月にカナダで開催された同大会においてアメリカの世界選手権8連覇を阻止し優勝されました。山田選手は4年前の北京オリンピック金メダルに続き2回目の藤沢市スポーツ栄誉賞受賞となります。

体育功労者

木村克子 (ソフトテニス)



昭和58年理事に就任以来、ソフトテニス競技の普及、振興に多大な貢献をされました。特に女性競技者の拡大に努め、所属クラブの指導や競技大会運営など協会の発展に永年にわたり尽力されました。

井上仁一 (卓球)



平成3年副会長に就任以来、協会の普及、発展に貢献されました。全日本社会人卓球選手権大会においては環境委員長として、全日本卓球選手権大会(マスターズの部)では、会場責任者として、大会運営に貢献されました。

川崎 涉 (剣道)



昭和58年に理事に就任以来、剣道連盟の運営と組織充実を図ると共に、剣道の普及・振興に尽力されました。86歳の高齢ながら、現剣道界の最高位(範士八段)としての指導力で現在も道場に立ち、竹刀を交え後進の指導をされています。

数野隆人 (体操)



平成3年理事に就任以来、体操競技の普及・振興に情熱をもつて尽力されました。また、常に体操協会内部をよくとりまとめ、会長としての指導力で今日の体操協会の基礎を築かれました。





平成24年度藤沢スポーツ賞受賞者

《優秀選手》

佐藤美杏樹(陸上)

第15回アジアジュニア陸上競技選手権大会
3000m障害 2位

阿部雄太・井坂純一(卓球)

平成24年度関東高校卓球大会ダブルス優勝
武藤瑠海(バドミントン)

第31回関東プロテニススポーツ少年団競技別
交流大会 優勝

木村江里(空手道)

第8回全日本障害者空手道競技大会
(組手・形) 女子第1部 優勝

佐藤末歩(弓道)

第9回全国中学生弓道大会 女子個人第2位
技能優秀賞

伊藤佑寧(テニス)

第39回全国中学生テニス選手権大会 優勝

岩見 亮(テニス)

第74回テニ全日本ベテランテニス選手権
2012 男子50才以上シングルス 優勝

小林ほの香(テニス)

ダンロップ全日本ジュニアテニス選手権
2012 3位

福田真大(テニス)

第39回全国中学生テニス選手権大会
ダブルス準優勝

榊原健人(ヨット)

第10回全国中学校ヨット選手権大会
セーリングOP級男子の部 優勝

深沢瑛里(ヨット)

2012年度第41回全日本470級ヨット
選手権大会兼第26回全日本女子470級
ヨット選手権大会総合3位 女子優勝

藤井信人(ボウリング)

第67回国民体育大会ボウリング競技会
成年男子団体戦(2人チーム) 優勝

村上武男(ボウリング)

日本スポーツマスターズ2012 優勝
JBC会長杯争奪第27回全日本年齢別ボウ
リング選手権大会60歳以上の部 優勝

首藤廣明(バウンドテニス)

第7回関東ブロックバウンドテニス選手権
大会 男子シングルスミドルの部 優勝

中山俊一・首藤廣明(バウンドテニス)

第30回全日本バウンドテニス選手権大会
男子ダブルスミドルの部 3位

谷村浩貴(バウンドテニス)

第30回全日本バウンドテニス選手権大会
男子ダブルスフリーの部 2位

谷村浩貴(バウンドテニス)

第7回関東ブロックバウンドテニス選手権
大会 男子ダブルスフリーの部 優勝

広瀬 隆(バウンドテニス)

第30回全日本バウンドテニス選手権大会
男子シングルスシニアの部 優勝

首藤智恵(バウンドテニス)

第7回関東ブロックバウンドテニス選手権
大会 女子ダブルスフリーの部 優勝

小林直海(サーフィン)

第47回全日本サーフィン選手権大会
ジュニアクラス 2位

小松貴史(サーフィン)

第47回全日本サーフィン選手権大会
ボディボードメンクラス 3位

齋藤久元(サーフィン)

第47回全日本サーフィン選手権大会
ロングボードメンクラス 優勝

田村隆之(サーフィン)

第47回全日本サーフィン選手権大会
支部長クラス 優勝

有村啓吾(カヌー)

JOCジュニアオリンピックカップ平成24
年度全国中学生カヌー大会 男子カナディ
アンシングル(C-1) 500m 優勝

鈴木康成・有村啓吾(カヌー)

JOCジュニアオリンピックカップ
平成24年度全国中学生カヌー大会 男子カ
ナディアンペア(C-2) 500m 準優勝

加藤真央(カヌー)

第67回国民体育大会カヌー競技会カヌース
プリント 少年女子カヤックペア(WK-
2) 500m 3位

第8回日本カヌースプリントジュニア・
ジュニアユース小松大会兼2013海外派
遣選手一次選考会女子カヤックペア(WK
-2) 1000m 3位

六戸美華(カヌー)

2012全日本長良川カヌー長距離選手権
大会兼第2回全日本学生カヌー長距離選手
権大会 女子カヤックシングル
(WK-1) 6000m 優勝

第67回国民体育大会カヌー競技会カヌース
プリント 少年少女カヤックペア
(WK-2) 500m 3位

本宿 濤(カヌー)

平成24年度B&G杯全国少年少女カヌー大
会女子カヤックシングル3位 女子カヤッ
クペア3位 女子フラットスラローム3位

本宿 濤(カヌー)

平成24年度B&G杯全国少年少女カヌー大
会男子フラットスラローム 3位

本宿 濤(カヌー)

平成24年度B&G杯全国少年少女カヌー大
会男子フラットスラローム 3位

本宿 濤(カヌー)

平成24年度B&G杯全国少年少女カヌー大
会男子フラットスラローム 3位

本宿 濤(カヌー)

平成24年度B&G杯全国少年少女カヌー大
会男子フラットスラローム 3位

《優秀団体》

ボーイズリーグ湘南クラブボーイズ(野球)

第6回全日本中学野球選手権大会ジャイヤ
ンツカップ 優勝

日本精工(株) 藤沢工場バレーボール部
(バレーボール)

全日本9人制バレーボール実業団男子選手
権大会 3位

第81回全日本9人制総合男子選手権大会 3位

藤沢市立明治中学校(バレーボール)

第3回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバ
レー大会 女子の部 優勝

藤沢クラブ(バレーボール)

第3回湘南藤沢カップ全国中学生ビーチバ
レー大会 男子の部 準優勝

藤沢マスターズ(バレーボール)

日本スポーツマスターズ2012
バレーボール高知大会 3位

藤沢みなみ(バレーボール)

第24回全国家庭婦人バレーボールいそじ大
会 優勝

空手アカデミー拳勝館六会支部

小学1、2年生の部(空手道)
平成24年度全日本少年少女武道(空手道)
錬成大会 小学1・2年生の部 準優勝

空手アカデミー拳勝館六会支部

小学5、6年生の部(空手道)
平成24年度全日本少年少女武道(空手道)
錬成大会 小学5・6年生の部 準優勝

慶應義塾湘南藤沢中等部

男子弓術部(弓道)
第9回全国中学生弓道大会 男子団体2位

慶應義塾湘南藤沢中等部

女子弓術部(弓道)
第9回全国中学生弓道大会 女子団体3位
技能優秀賞

日本サーフィン連盟湘南藤沢チーム

(サーフィン)
第47回全日本サーフィン選手権大会
バドルリレー 2位

《敢闘選手》

石井秀昂 (陸上)

平成24年度神奈川県高校総合体育大会
3000m障害 優勝

遠藤宏夢 (陸上)

第47回神奈川県中学校陸上競技選手権大会
男子1500m 優勝

井田正子・望月弘子 (バウンドテニス)

第27回神奈川県バウンドテニス選手権大会
全日本バウンドテニス選手権大会 (県予選)
女子ダブルスシニアの部 優勝

堀 木綿子 (バウンドテニス)

第27回神奈川県バウンドテニス選手権大会
全日本バウンドテニス選手権大会 (県予選)
女子シングルスミドルの部 優勝

武田耕一 (カヌー)

第48回神奈川県カヌースプリント選手権大会
会兼第67回国民体育大会神奈川県予選
中学男子カヤックシングル (KI) 1位

《敢闘団体》

藤沢翔陵高等学校陸上部 (陸上)

男子第65回神奈川県高校学校駅伝競走大会
優勝

湘南工科大学附属高等学校卓球部 (卓球)

神奈川県高校総合体育大会 男子団体優勝

《スポーツ奨励賞》

Fujinawa Jump Crew (ダブルダッチ)

第39回ADDL (アメリカダブルダッチ
リーグ) 世界選手権大会 6th Grade 優勝

第二部 講演会

第二部の講演会では、高野進氏による「目の前にある無限の可能性」についての講演がありました。ロンドンオリンピック陸上競技総監督であり、男

子4000m日本記録保持者である高野氏は、競技者としての歩み・運動と脳の関係・幸せな人生のための3原則等、自分自身の経験を元に講演していただきました。その中で東海大学に入学してからは、早朝から1日中練習をし、23歳の時にロサンゼルスオリンピックに出場。27歳で日本記録を出したこと等、どうして長い間、競技を続けることが出来たのか。その他に感動的な生き方についてのお話もあり、中学・高校生の受賞者には大いに参考になった事でしょう。

(荒井)



講演中の高野進氏

第三部 レセプション

高野進氏、来賓の方々、スポーツ賞



乾杯の音頭をとる高野進氏

受賞者や加盟種目協会関係者が一堂に会し親睦の輪が広がりました。

平成24年度賛助会員
個人144件 団体42件

個人会員の〆芳名 (順不同・敬称略)

- 木村英勇・杉山保・滝内洋子・山下普士
- 山門誉宗・荒木慎太郎・木村久乃・神崎治彦・小林志光・二階堂信夫・関野治夫・坂尻茂・堀比斗志・山崎和範・灰野辰男・高木美幸・石曾根亮次・土屋保三
- 井上仁一・佐野由美子・臼井文夫・中村英彦・山崎智昭・久保田浩資・松本益雄・笠間房子・内田充子・船越みどり・山田貢・沼上晃・大島進・藤田正辰・黒田裕・井上広男・市川和広・野田勇二・野田豊子・高梨利子・岡節子・大井正信
- 小野寺礼子・覧村董子・宮脇英雄・志和木美雪・鈴木誠・定直史人・板垣孝・船山純子・青木好文・武井英雄・永島修治・豊島亜彦・川路久男・諸節寛行・林良雄・幸野實・飯島和男・小菅春夫・矢部重信・渡辺博美・鹿島昇・旭勝美・内田敬治・山本敏秋・小池保・篠原未晃・二橋雄一・薩田猛・成勢明・平本武・石井市朗・細谷隆久・横尾誠一・見上貴・森和夫・橋本宰俊・桜井忍・波多野和敬
- 宮本隆弘・中村智・石井洋秀・宮本隆三・三谷谷修二・小川明・福田光春・小林俊一・古屋元氣・柴田真理子・隅田雄一
- 砂川育太郎・西村和三・我妻隆夫・佐藤芳春・柏木正俊・瀬脇廣巳・三猪政次
- 川口健二・荒井勝男・杉 勲・古郡健・

団体会員の〆芳名 (順不同・敬称略)

- グラウンドゴルフ協会・横浜日野自動車(株)・卓球協会・茅ヶ崎ソフトテニス協会・ゴルフ協会・ボウリング協会・パドミントン協会・中央機工(株)・ゲートボール連合・サーフィン協会・バウンドテニス協会
- 江ノ島電鉄労働組合・藤沢市スポーツ推進委員協議会・剣道連盟・バスケットボール協会・剣修館川崎道場・柔道協会
- ダンススポーツ連盟・ラグビーフットボール協会・弓道協会・アーチェリー協会
- テニス協会・カヌー協会・野球協会・スキー協会・ハンドボール協会・ソフトテニス協会・太極拳連盟・体操協会・バレーボール協会・藤沢家庭婦人バレーボール連盟・サッカー協会・サッカー協会社会人委員会・サッカー協会高校委員会・サッカー協会中学委員会・サッカー協会少年委員会・サッカー協会女子委員会・ヨット協会・水泳協会・ソフトテニス協会・陸上競技協会・山岳協会

(種目協会については藤沢市略)

子どもの体力問題とその2

ふじさわ体協の貢献度



藤沢市体育協会では、先頃加盟32団体(種目協会)を対象にアンケートを実施しました。その目的は子どもの体力問題を各種目協会がどのようにとらえているかを探る意味合いがありました。聞き取り調査(11団体)を含めてほぼ全種目協会を網羅できました。

この子どもの体力低下の問題は社会現象としてとらえられて久しく、様々な角度からその実態が調査研究されています。ふじさわ体協(藤沢市体育協会)では、昨年度機関紙79号で現状とその問題点を指摘しました。

文部科学省の全国調査(2009〜2012年)のデータ(表1参照)によれば、神奈川県は3年前(2009年)と本年度(2012年)が同順位でした。小学5年生男子が42位、同じく女子は47位(最下位)となつています。あたかもこの3年間を無為無策(結果が出ない)で過ごしてきたようにとらえられても仕方がない状況となっております。

教育行政や子どもを指導教育する現場は、当然のことながらこの問題への取り組みを強化し、子ども達の体力・運動能力(動感能力)を高め

る必要があります。できない言い訳より結果を重視すべきではないでしょうか。

そこで、今回のテーマとなつている「ふじさわ体協」の取り組みについて現状をご報告します。まずはどうか、その一端を以下にまとめておきたいと思ひます。

市体協には32種目協会が加盟し、その登録は小学生、中学生、高校生、社会人を一括して行われ、その数は毎年平均して28,000人前後で推移しています。

そのうち小学生は今回の調査では7,105人となつています(グラフ参照)。市内の小学校35校の児童総数が22,953人(2012年度調査)です。のほぼその3割強が何らかのスポーツにかかわりをもつています。因みに、32種目協会の中、子ども達を指導している協会は26協会(81



カヌー練習風景



体操教室練習風景

%あり、その中にはクラブ・教室等330団体があります。毎回の練習時間は2時間が最も多く(全体の65%)、その子どもたちを指導する指導者は、その92%が市、県、国いずれ



全国体力調査 都道府県別順位と点数 ～関東地方・小学5年生～

(表1)

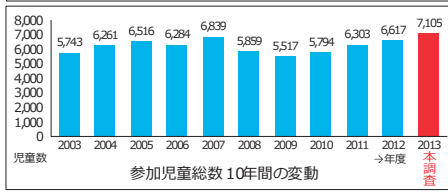
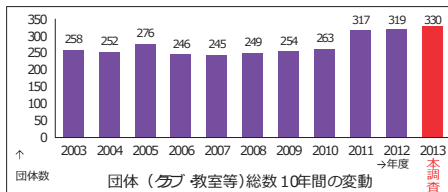
朝日新聞記事より抜粋

関東地方	2009年度		2010年度		2012年度	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
茨城	(4) 56.52	(3) 57.92	(5) 56.43	(3) 58.46	(2) 56.53	(2) 58.22
栃木	(24) 54.09	(19) 55.57	(20) 54.71	(13) 56.05	(7) 53.79	(12) 56.11
群馬	4 53.10	3 53.71	4 52.77	3 53.58	4 52.31	4 53.06
埼玉	(10) 55.65	(6) 56.82	(11) 55.34	(10) 56.59	(4) 54.87	(7) 56.34
千葉	(5) 56.39	(5) 57.59	(4) 56.54	(5) 57.32	(6) 55.84	(8) 56.07
東京	3 53.32	3 53.52	3 53.54	3 54.07	(23) 54.10	(20) 54.52
神奈川	4 53.07	4 52.38	4 52.67	4 52.44	4 52.86	4 52.52
全国平均		54.19		54.59		54.89

注1. 2011年度は東日本大震災で実施せず。

注2. 公立学校の集計。丸数字は順位。握力、上体起こし、長坐体前屈、反復横跳び20Mシャトルラン、50M走、立ち中どび、ソフトボール投げの8種目80点満点

最近の市体協加盟登録状況 ～小学生 抜粋～ (2003～2012年度)



最後の、この度のアンケートにご協力頂きました種目協会に心から感謝申し上げます。(文責 栗原英昭)

編集後記

2020年東京オリンピック招致委員会において、前回の招致活動の反省を踏まえて積極的活発な招致活動を展開してきました。海外メディアにおいての招致委員会への評価もおおむね好意的な良好な反応を示しているようです。しかし、スペイン・マドリッド、トルコ・イスタンブールも東京でのプレゼンテーションの状況を参考に東京以上の攻勢を懸けており9月の国際オリンピック委員会での投票で決定されます。

1964年戦後19年日本での第1回目の東京オリンピック開催は、経済復興・高度成長・国際社会への復帰と日本の発展の象徴でもありました。

2020年の2回目の開催となれば、2011年東日本大震災から9年を経ての開催は、復興を世界にアピールする事の今日的意義は多大であると思われる事です。そのためには是非とも日本での開催を実現したいと誰もが願っているでしょう。そして、その為には私達は何をしなければならぬのでしょうか。

(波多野・荒井)